

地方自治と私たち

1 単元のねらい

「〇〇市をもっと住みよいまちにするためにどうすればよいか」を考えることを通して、〇〇市には人口の減少という課題があるということと、住民の福祉の向上のためには、住民の意思の反映が必要であることに気づき、一人一人が主権者として地域の政治に参加しようと思えることができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6	単元のまとめ
知識・技能		○		○	●		
思考・判断・表現			○				
主体的に学習に取り組む態度	●					○	○

単元名

地方自治と私たち

単元学習前の生徒の意識

地方の政治は、前単元で学んだ国の政治のしくみと比べて、どんな違いや特色があるのだろう。地方自治では自分たちがどんなことができるのだろう

第1時 ○○市に住む人々の思い 【●主体的に学習に向かう態度】

どんな○○市なら、より住み続けたいと思えるだろう

☆地方自治体 ☆地方分権

○○市の意識調査で、80%以上の住民が○○市に住み続けたいと思っている人が多いことがわかった。しかし、若者（10代、20代）の多くは○○市に魅力を感じておらず、住み続けたいという思いをもてていないことがわかった。どんな○○市だったら若者が住み続けたいと思えるだろう。

どうすれば○○市がもっと住み続けたいと思えるまちになるだろう

第2時 私たちの生活と地方自治

地方自治はどのような考え方で行われているだろう。

☆地方自治 ☆民主主義の学校

地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれるくらい、住民の意思が尊重され、民主主義の原理が大切にされている。

地方公共団体の仕事は、ごみの処理や消防などがあり、私たちの身近な生活と深く関わっているとわかった。また、私たちが豊かな生活を送ることができるよう、住民のために仕事をしていることがわかった。○○市に任せきりにするのではなく、自分から参加していくことで本当の住民自治が達成されることがわかった。

第3時 地方自治の仕組み

二代表制がとられているのはなぜだろう。

☆地方議会 ☆条例 ☆首長

☆二代表制 ☆直接請求権

二代表制がとられているのは、国の仕組みと同じように、一部に権力が集中しないようにするためだとわかった。

国の仕組みと違うのは、首長も住民が選ぶという点と条例や議会・首長の解職請求を住民が直接請求というかたちで行うことができる点である。このような形をとることで、住民の意思が反映されやすくなっている。

第4時 地方自治の課題

地方公共団体は財源をどのように手に入れているのだろう。

☆歳出 ☆地方税 ☆地方債

☆地方交付税交付金 ☆歳入

☆国庫支出金

住民税などの自分たちが収める税金が地方公共団体の活動を支えていることがわかった。しかし、自主財源だけでは、足りないため国からの依存財源に頼っていることがわかった。

地方公共団体は公務員を少なくしたり、事業を減らしたりすることで、財政を立て直そうとした。その結果、平成の大合併が起きたということがわかった。

第5時 住民参加の拡大と私たち

○○市には、どのような課題があるだろう。

○○市について調べたら、人口減少と少子高齢化が問題となっていることがわかった。人口が減少していくと地方公共団体が衰退してしまうため、大変な問題だと思った。○○市が住み続けたいまちになれば、人口は減少していかないため、自分たちにできることを考えたい。

第6時 単元のまとめ

どうすれば○○市が住み続けたいと思えるまちになるだろう。

☆住民投票

住み続けたいと思えるまちにするには、子どもを育てやすかったり、医療が充実していたりといった、「人が大切にされるまち」にしていくことが必要だとわかった。そのために、私たちも機会があったら、意見を地方公共団体に届けたり、首長、議会の選挙や住民投票に関心を持ったりすることが必要だとわかった。

単元学習後の生徒の意識

○○市には人口の減少という課題があるため、今後も住民が住みよいまちにしていくためには、住んでいる私たち一人一人が意見を持ち、地方公共団体の政治に反映させていくことが大切だとわかった。

私は今まで、地域の課題について、あまり考えたことがなかった。また、私の意見が政治に反映されることはじめて知ったので、自分にできる範囲で政治に参加し、○○市をさらに住みやすいまちにしていきたい。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	◇資料・援助
1 〇〇市に住む人々の思い	<p>「もっと住み続けたいくなる〇〇市」にするためにはどうすればよいか考えることを通して、自分たちの生活と関わらせて考え、単元を貫く活動を設定することができる。</p> <p>☆地方公共団体</p>	<p>1, 居住地域の定住意向調査結果をもとに、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇市は住み続けたい人が多い。 10代20代の定住意向が低い。 <p>どのような〇〇市なら皆が住み続けたいだろう。</p> <p>2, 課題に対して自分の考えをもち交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ショッピングセンターができたらいいな。 遊べる公園があるといいな。 <p>3, 〇〇市の住民が答えた、アンケート結果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の未来を考えた意見がある。 この住民の声を政治に生かすために、どうすればいいだろう。 <p>4, 単元を貫く課題を設定する。</p> <p>どうすれば〇〇市がもっと住み続けたいと思えるまちになるだろう</p> <p>5, 課題に対する予想を書く。</p> <p>6, 本時のまとめをする。</p>	<p>・どうすればもっと住み続けたい〇〇市になるかということについて粘り強く個人追究に取り組んでいる。</p> <p>(●主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>◇居住地域の定住意向調査</p> <p>◇まちづくりアンケート</p> <p>・「自分自身が〇〇市に住み続けたいか」を問うことで、市政に対する不満や課題点を解決することで定住意向が高まることに気づくことができる。</p>
		<p>私たちが考えた、「こんな〇〇市に住みたい」という意見は、自分にとっていいまちという視点だったけれど、市のアンケート結果を見ると、今の〇〇市の課題や将来のことまで考えていた。地域の人々が考えている〇〇市のための意見を実現するためにはどうすればいいだろう。</p>		
2 私たちの生活と地方自治	<p>地方自治がどのような考え方で行われているのか考える活動を通して、地方公共団体が地域に暮らす人々の生活に関わる仕事を行っていることに気づき、民主主義を身近に感じられることから民主主義の学校とよばれることを理解できる。</p> <p>☆地方自治 ☆民主主義の学校 ☆地方分権</p>	<p>1, 前時を想起させ、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇市は若者の定住意向が低い。 どうすれば住民の思いはどうやって政治に反映されるのだろう。 <p>地方自治はどのような考え方にもとづいて行われているだろう。</p> <p>2, 地方公共団体の仕事内容を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防や水道の管理を行っている。 ごみ収集や住民の暮らしなど、住民の暮らしに関することをしている。 <p>3, 国と地方公共団体の役割分担を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では対応できない住民の暮らしに関する仕事を地方公共団体が行っている。 より暮らしやすい地域にするために役割分担しているんだな。 <p>4, 地方公共団体が「民主主義の学校」と呼ばれている理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主主義は国民一人一人の意見が政治に生かされること。 民主主義が身近に感じられるから民主主義の学校なんだな。 <p>5, 本時のまとめをする。</p>	<p>・地方自治は地域に暮らす人々が、自分たちの暮らしをよりよくするために自分たち自身で行っているため、民主主義の学校と呼ばれていることについて理解している。</p> <p>(○知識・技能)</p>	<p>◇「地方公共団体の主な仕事」</p> <p>◇要望が行政に届くまで</p> <p>・「民主主義」という語句について、既習内容を想起させることで「民主主義の学校」の内容をつかませる。</p>
		<p>地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれるくらい、住民の意思が尊重され、民主主義の原理が大切にされている。</p> <p>地方公共団体の仕事は、私たちの身近な生活と深く関わっていることがわかった。また、私たちが豊かな生活を送ることができるよう、住民のために仕事をしている。〇〇市に任せきりにするのではなく、自分から参加していくことで住民自治が達成されることがわかった。</p>		
3 地方自治の仕組み	<p>地方公共団体が二代表制をとっている理由を考える活動を通して、国政との共通点や相違点に気づき、住民の意思を反映しやすくするためであると考えることができる。</p>	<p>1, 〇〇市の首長と議会の写真を提示し、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> どちらも政治に携わっている人たちだ。 両者はどのように関わっているのだろう。 <p>地方自治において、二代表制がとられているのはなぜだろう。</p> <p>2, 地方自治の主な仕組みの資料を基に、国政と地方自治の共通点と相違点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不信任決議を行ったり、議会を解散したりできるのは国政と同じ。 住民が首長と議会両方選べるのは違う。 	<p>・二代表制と国政の仕組みの共通点と相違点に気づき、住民の意思が政治に反映されやすくするために二代表制がとられていることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(○思考・判断・表現)</p>	<p>◇首長・議会の写真</p> <p>◇地方自治の主な仕組み</p> <p>◇議院内閣制</p> <p>・「行政の仕組みと内閣」の学習を想起させ、地方自治の特徴を理</p>

	<p>る。 ☆地方議会 ☆条例 ☆首長 ☆二元代表制 ☆直接請求権</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議会・首長の解職請求を住民ができるところも違う。 3, 課題の答えについて考える。 ・一部に権力が集中しすぎないため。 ・住民の意思が反映されやすくなるため。 		<p>解しやすくする。</p>
		<p>二元代表制がとられているのは、国の仕組みと同じように、一部に権力が集中しないようにするためだとわかった。国の仕組みと違うのは、首長も住民が選ぶという点と議会・首長の解職請求を住民が直接請求というかたちで行うことができる点である。このような形をとることで、住民の意思が反映されやすくなっている。</p>		
<p>4 地方自治の課題</p>	<p>地方公共団体がどのように財源を手に入れるか調べる活動を通して、地方公共団体の財政が地方税・地方交付税交付金・地方債・国庫支出金によって支えられていることに気づき、地方公共団体が財源の確保のために様々な工夫をしていることを理解できる。 ☆歳入☆歳出 ☆地方税 ☆国庫支出金 ☆地方交付税交付金 ☆地方債</p>	<p>1, 地方公共団体の主な仕事の資料を提示し、活動費が必要であることから本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の活動には、それぞれ費用が必要で、そのために、予算を組んでいる。 ・必要経費のためのお金はどこから来るのだろうか。 <p>地方公共団体が活動するための財源はどうしているのだろうか。</p> <p>2, 「地方財政の仕組み」と「都道府県の歳入と内訳」を用い追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民から徴収する地方税が約4割で多い。 ・地方交付税交付金や国庫支出金など国からの補助金をもらっていて、国に頼っている。 ・地方債と呼ばれる借金をしている。 <p>3, 依存財源に頼ることの問題点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借金を国に返さないといけない。 ・破綻してしまったら困るから、市町村合併などをして、地方税を確保できるようにしている。 <p>4, 本時のまとめをする。</p> <p>住民税などの自分たちが収める税金が地方公共団体の活動を支えていることがわかった。しかし、自主財源だけでは足りないため、依存財源に頼っていることがわかった。地方公共団体は公務員を少なくしたり、事業を減らしたりすることで、財政を立て直そうとした。平成の大合併もその際に起きたということがわかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体が活動するための財源の種類と財政の課題について理解することができる。 (○知識・技能) 	<p>◇地方財政の仕組み ◇都道府県の歳入と内訳 ◇地方債の発行残高 ◇市町村合併による市町村数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併を行うことによる、地域住民の不便さも取り扱う。
<p>5 住民参加の拡大と私たち①</p>	<p>〇〇市の課題について調べる活動を通して、人口減少が課題となっていることに気づき、人口減少が進むと、地方公共団体の衰退につながってしまうと考えることができる。</p>	<p>1, 単元を貫く課題と関わらせて、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市は住み続けたいと思える人が多いが、高齢者に比べ、若者の「住みたい」という思いが低かった。この状況はどんな問題につながっていくのだろうか。 <p>〇〇市にはどのような課題があるだろうか。</p> <p>2, 統計資料をもとに〇〇市の課題について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市では出生率が減少し、少子化の傾向にある。 ・日本全国と同じで、〇〇市も高齢化が進んでいる。 <p>3, 少子高齢化、人口減少の課題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方税が減り、依存財源に頼らなければいけなくなる。 ・何年後かに、高齢者の割合が〇%になる。 ・そのために、地方公共団体は合併など工夫をしている。 <p>4, 本時のまとめ</p> <p>〇〇市について調べたら、人口減少と少子高齢化が問題となっていることがわかった。人口が減少していくと地方公共団体が衰退していつてしまうため、大変な問題だと思った。〇〇市が住み続けたいまちになれば、人口は減少していかないため、自分たちにできることを考えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市の統計資料を読み取り、人口減少・少子高齢化という現状と、今後起こりうる問題について様々な資料をもとに調べ、理解することができる。 (●知識・技能) 	<p>◇〇〇市の統計資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を想起させ、〇〇市も日本全体と同じように、人口減少→地方税減収という問題に直面していることをつかませる。

<p>6 住民参加の拡大と私たち②</p>	<p>〇〇市に必要な人口減少対策として考えた政策を仲間と交流する活動を通して、保育・医療・福祉・教育など、「人を大切にする」政策の重要性に気づき、自分自身も〇〇市のために政治参加をしようと考えていることができる。 ☆住民投票</p>	<p>人口減少が進む〇〇市では、どのような政策が必要だろうか？</p> <p>1, 前時の内容を想起させ、本時の課題を設定する。 ・人口減少が進んでいることが様々な資料から分かった。 ・人口減少問題を改善させるために、どのような政策をすると良いのだろうか。 2, 〇〇市の人口減少に対する政策を考える。 ・子どもを育てやすくする ・人を大切にする政策が必要である。 3, そのために自分にできることは何かを考えさせる。 ・住民アンケートに答える。 ・住民投票の機会があれば参加する。 ・manifestoを読み、選挙で投票する。 4, 単元のまとめをする</p> <p>住み続けたいと思えるまちにするには、子どもを育てやすかったり、医療が充実していたりといった、「人が大切にされるまち」にしていくことが必要だとわかった。そのために、私たちも機会があったら、意見を地方公共団体に届けたり、首長、議会の選挙や住民投票に関心を持ったりすることが必要だとわかった。</p>	<p>・市の現状を理解し、自分自身も政治に参加していこうと考え、主体的に関わろうとしている。 (〇主体的に学習に向かう態度)</p>	<p>・生徒の意見を「子育て」「福祉」「医療」などにまとめて板書することで、「人を大切にする」という政策の重要性を理解しやすくする。</p>
-----------------------	--	---	--	--

第3章のまとめの活動

ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	◇資料・援助
<p>〇〇市の市長になって条例をつくらう</p>	<p>市長として〇〇市の条例をつくる活動を通して、自分たちの意見を政治に反映させることの重要性に気づき、今後、政治参加をしていこうという意欲をもつことができる。</p> <p>S市の市長になったつもりでまちにあった条例をつくらう。</p> <p>2, 教科書p123のステップチャートを利用して、課題・解決策・条例案を考える。 3, グループで交流し、一人一人が考えた条例案が施行されたら、どんなまちになるかを考えさせる。 ・活気のあるまちになるだろう。 ・若い人たちが過ごしやすいまちになると思う。 〇まちの活性化につながる貴重な意見を創れた。 ・一人一人の意見をこれから政治に生かしていくことが大切だ。 4, 第3章の単元のまとめを考える。 〇国会・内閣・裁判所・地方自治の4つの政治機関に対して、私たちはどう関わっているだろう。 ・国会に対しては、選挙に参加することで関わっている。 ・内閣とは、世論を形成することで関わっている。 ・裁判所に対しては、国民審査をする権利がある。 ・地方自治に対しては、首長や議会を選ぶ関わりや、住民投票に関わる権利がある。 〇単元の課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきだろう」の答えを書こう。</p>	<p>・自分が政治参加する重要性に気づき、政治参加に対する意欲を持ち、主体的に関わろうとしている。 (〇主体的に学習に向かう態度)</p>	<p>◇市長の写真と選挙戦の様子 ◇ステップチャート 前単元で考えた課題・解決策を参考にして条例を考える。</p> <p>私たちは、自分たちが暮らす社会を自分たちで創っていくという意識を持つことが重要である。そのためには、選挙という政治参加への第一歩を大切に、様々な課題に対して、自分の視点だけでなく、他所の視点も考えて、解決策を考えるべきである。 私は、政治はえらい人たちが行っていて、一般の人たちは関係がないものだと思っていたけれど、「民主政治と社会」の単元を学習して、日本の政治は民主主義に則っており、自分たちの意見が受け入れられることがわかった。これから積極的に自分にできる政治参加をして、平和な住みやすい日本・地域づくりに貢献したい。</p>